Asset Management One

運 用 報 告 書（全体版）

第５期<決算日2025年６月９日>

Ｏｎｅ国際分散投資戦略ファンド（目標リスク６％）<ＤＣ年金>

愛称：THE GRiPS ６％<ＤＣ年金>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「Ｏｎｅ国際分散投資戦略ファンド（目標リスク６％）<ＤＣ年金>」は、2025年６月９日に第５期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2020年５月13日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	Ｏｎｅ国際分散投資戦略ファンド（目標リスク６％）<ＤＣ年金>	Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド（以下「ＧＲｉＰＳマザーファンド」といいます。）受益証券、ＤＩＡＭマネーマザーファンド受益証券、短期金融資産を主要投資対象とします。
	Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド	世界（日本を含む）の株価指数先物、債券先物、商品先物、スワップ取引、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券（ＥＴＦ）および為替予約取引を主要投資対象とします。
運用方法	ＧＲｉＰＳマザーファンド受益証券への投資を通じて、世界（日本を含む）の株価指数先物取引、債券先物取引、商品先物取引、スワップ取引、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券（ＥＴＦ）および為替予約取引を主要投資対象とし、実質的に投資します。また、ＤＩＡＭマネーマザーファンド受益証券や短期金融資産にも投資を行います。 基準価額の変動リスクを年率６％程度※1に抑えつつ、中長期的にリスク水準と同程度のリターン（信託報酬控除前）※2の獲得をめざして、ＧＲｉＰＳマザーファンド受益証券、ＤＩＡＭマネーマザーファンド受益証券および短期金融資産の組入比率を調整します。ただし、投資環境によっては、ＤＩＡＭマネーマザーファンド受益証券の組入れを行わない場合があります。 ※１　上記数値は中長期的なリスク水準の目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれをも約束するものではありません。 ※２　リターンは信託報酬控除前の水準であり、一定水準のリターンが達成されることを約束するものではなく、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。	
組入制限	各マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 マザーファンド受益証券以外の投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。 デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定しません。 商品投資等取引の利用はヘッジ目的に限定しません。 商品現物への投資（商品先物取引等の現物受渡し決済に伴う保有を含みます。）は行いません。 外国為替予約取引の利用はヘッジ目的に限定しません。 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10％、合計で20％以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行うこととします。	
分配方針	決算日（原則として６月８日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2
https://www.am-one.co.jp/

Ｏｎｅ国際分散投資戦略ファンド（目標リスク６％）＜ＤＣ年金＞

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)比率	債券先物比率	投資信託受益証券、投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率							
(設定日)	円	円	%	%	%	%	%	%	%	百万円
2020年5月13日	10,000	－	－	－	－	－	－	－	－	42
1期（2021年6月8日）	9,947	0	△0.5	－	32.8	14.9	－	137.9	－	134
2期（2022年6月8日）	9,581	0	△3.7	－	42.4	28.3	－	127.0	－	465
3期（2023年6月8日）	8,738	0	△8.8	－	40.8	18.8	－	74.5	－	992
4期（2024年6月10日）	8,832	0	1.1	－	49.4	35.6	－	41.5	－	1,471
5期（2025年6月9日）	8,624	0	△2.4	－	45.9	48.7	－	65.4	－	1,975

（注１）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「新株予約権付社債（転換社債）比率」、「債券先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。
（注３）株式先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注４）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注５）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
（注６）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

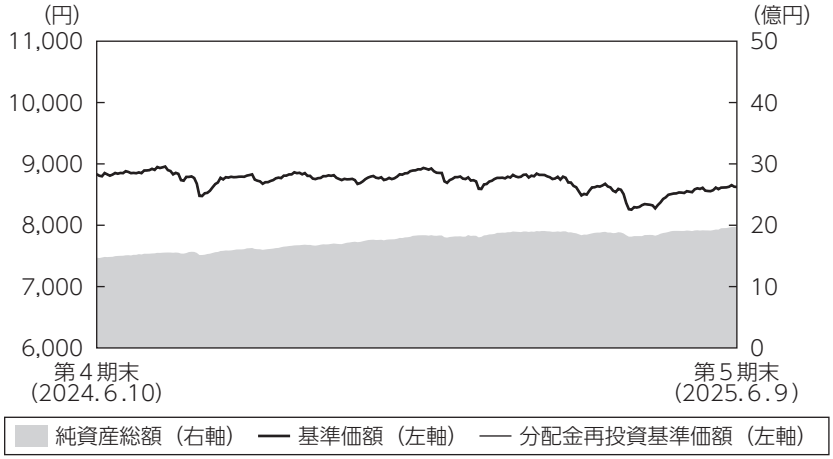
■当期中の基準価額の推移

年　月　日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)比率	債券先物比率	投資信託受益証券、投資証券組入比率
		騰落率						
(期　首)	円	%	%	%	%	%	%	%
2024年６月10日	8,832	－	－	49.4	35.6	－	41.5	－
６月末	8,853	0.2	－	50.2	35.4	－	42.5	－
７月末	8,796	△0.4	－	49.2	38.2	－	41.8	－
８月末	8,809	△0.3	－	48.7	37.2	－	39.4	－
９月末	8,849	0.2	－	41.9	36.6	－	64.6	－
10月末	8,736	△1.1	－	42.2	36.2	－	75.6	－
11月末	8,849	0.2	－	49.7	24.4	－	72.7	－
12月末	8,760	△0.8	－	55.7	30.3	－	65.1	－
2025年１月末	8,821	△0.1	－	46.8	34.0	－	63.6	－
２月末	8,743	△1.0	－	49.6	60.3	－	49.4	－
３月末	8,563	△3.0	－	59.3	58.2	－	61.2	－
４月末	8,497	△3.8	－	46.1	50.7	－	71.1	－
５月末	8,613	△2.5	－	45.0	49.0	－	66.8	－
(期　末)								
2025年６月９日	8,624	△2.4	－	45.9	48.7	－	65.4	－

(注１) 騰落率は期首比です。
(注２) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「新株予約権付社債（転換社債）比率」、「債券先物比率」、「投資信託受益証券、投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注３) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。
(注４) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年６月11日から2025年６月９日まで）

基準価額等の推移



第５期首：　8,832円
第５期末：　8,624円
（既払分配金0円）
騰　落　率：　△2.4%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

株式市場は、円高進行や米関税発動への懸念などから短期的に下落する場面があったものの、堅調な経済指標等を受け、国内および国外の主要指数は上昇しました。債券市場は、海外主要国における利下げ観測や日銀の利上げなどを背景に、国外・国内ともにまちまちの展開となりました。為替市場は、日銀の利上げなどを背景に、主要通貨に対して前期末対比で円高となりました。そのような状況下、月次戦略は債券がマイナス寄与となり、基準価額は下落しました。

投資環境

海外主要国における利下げ観測や日銀の利上げなどを背景に、債券市場はまちまちの展開となりました。株式市場は、円高進行や米関税発動への懸念などから短期的に下落する場面があったものの、堅調な経済指標等を受け、国内および国外の主要指数は上昇しました。商品市場は、中東情勢を巡る地政学リスクの高まりや米国景気の先行き不透明感などを背景に、金市場などが上昇しました。

ドル／円相場は、ＦＲＢの利下げ観測の高まりや日銀の利上げなどを受け、前期末対比で円高ドル安となりました。ユーロ／円相場は、ユーロ圏景況感の悪化などを受けたＥＣＢの利下げ観測の強まりや日銀の利上げなどを背景に、前期末対比で円高ユーロ安となりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドでは、Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド75％を基本配分比率とし、概ねこの割合となるよう、マザーファンドの組入れを行いました。市場のリスクが高まった局面では一時的にマザーファンドの組み入れ比率を引き下げました。

【当ファンドの資産別構成】

期首（前期末）

資産		組入比率	
株式	米州先進国	9.4%	49.4%
	欧州先進国	26.2%	
	アジア先進国	12.5%	
	新興国	1.3%	
債券	米州先進国	4.5%	41.5%
	欧州先進国	23.3%	
	アジア先進国	13.7%	
	新興国	－	
為替	米州先進国	3.9%	12.1%
	欧州先進国	5.5%	
	アジア先進国	2.8%	
	新興国	0.0%	
商品		0.0%	0.0%
合計		103.0%	

期末

資産		組入比率	
株式	米州先進国	16.9%	45.9%
	欧州先進国	15.8%	
	アジア先進国	11.6%	
	新興国	1.5%	
債券	米州先進国	24.1%	65.4%
	欧州先進国	12.0%	
	アジア先進国	29.4%	
	新興国	－	
為替	米州先進国	3.8%	△8.6%
	欧州先進国	△1.1%	
	アジア先進国	△11.3%	
	新興国	0.0%	
商品		0.7%	0.7%
合計		103.4%	

（注１）当ファンドはマザーファンドを組入れますので組入比率は純資産総額に対する実質的な割合（邦貨換算）です。
（注２）先物取引やスワップ取引等の買建ておよび売建てを組み合わせた実質的な資産配分比率です。

●Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド

主として世界（日本を含む）の株式、債券、通貨、商品等に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率８％程度となるよう、ポートフォリオを構築しました。各市場及び各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、資産価格に影響を与える複数のリスク要因を抽出したうえで、各要因からファンドが受ける影響が均等になるように、月次で決定しました。その結果、前期末対比でファンド全体のポジションは概ね同程度となりました。

分配金

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目		当期 2024年６月11日 ～2025年６月９日
当期分配金（税引前）		－円
対基準価額比率		－％
	当期の収益	－円
	当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額		44円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。

（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

基準価額の変動リスクが年率６％程度となるよう、Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンドの組入比率を日次で調整してまいります。

●Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド

引き続き、主として世界（日本を含む）の株式、債券、通貨、商品等に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率８％程度となるよう、ポートフォリオを構築します。各市場及び各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、資産価格に影響を与える複数のリスク要因を抽出したうえで、各要因からファンドが受ける影響が均等になるように、月次で決定してまいります。

■１万口当たりの費用明細

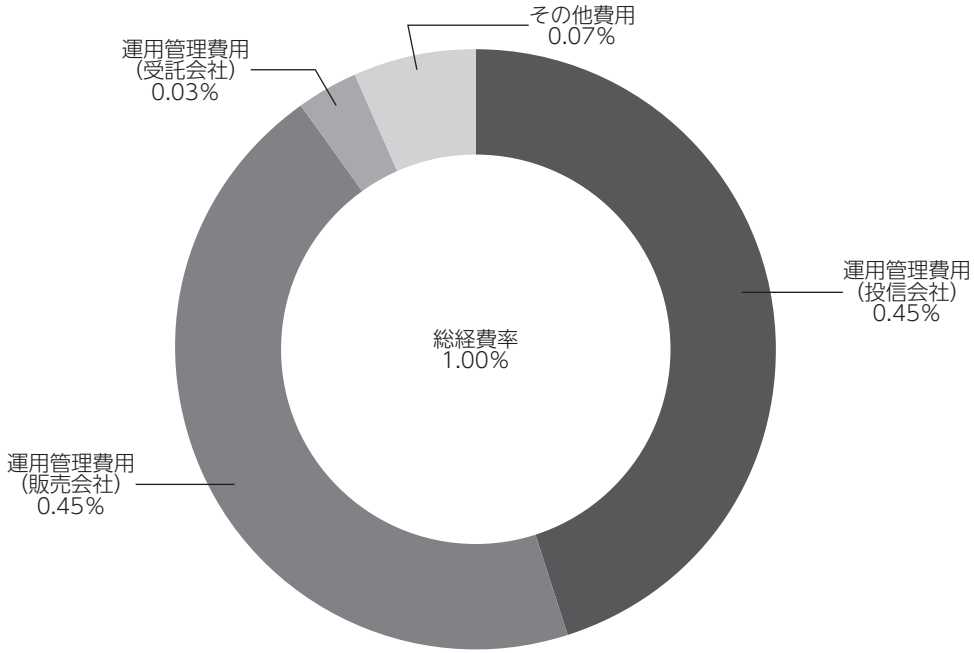
項目	第５期 (2024年６月11日 ～2025年６月９日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	81円	0.932%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,716円です。
(投信会社)	(39)	(0.450)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(39)	(0.450)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) 売買委託手数料	5	0.057	(ｂ) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(先物・オプション)	(5)	(0.057)	
(ｃ) その他費用	6	0.066	(ｃ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.028)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(3)	(0.035)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	92	1.056	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.00％です。



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。なお、トータル・リターン・スワップに関連する費用は、総経費率の計算に含まれません。当該費用は、スワップ取引の日々の評価額から差し引かれ、基準価額に反映されます。上記の総経費率に関しては、入手し得る情報において作成、計算されたものです。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年６月11日から2025年６月９日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	697,435	368,973 (110,000)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年６月11日から2025年６月９日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド	1,009,261	1,113,660	668,271	708,440

■利害関係人との取引状況等（2024年６月11日から2025年６月９日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	330,000	328,966	16.7	－	－	－	16.7
合計	330,000	328,966	16.7	－	－	－	16.7

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（国債証券）	%	千円	千円	
１２７６回　国庫短期証券	－	110,000	109,718	2025/12/22
１２８８回　国庫短期証券	－	220,000	219,247	2026/02/20
合計	－	330,000	328,966	－

(2) 親投資信託残高

	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド	958,687	1,299,677	1,479,163

■投資信託財産の構成

2025年６月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	328,966	16.6
Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド	1,479,163	74.5
コール・ローン等、その他	176,478	8.9
投資信託財産総額	1,984,607	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

（注２）期末のＯｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,578,556千円、23.0％です。

（注３）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年６月９日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝144.90円、１カナダ・ドル＝105.82円、１オーストラリア・ドル＝94.21円、１香港・ドル＝18.46円、１イギリス・ポンド＝196.17円、１スイス・フラン＝176.21円、１スウェーデン・クローナ＝15.04円、１ユーロ＝165.11円です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドの主要投資対象であるＯｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンドにおいて行った取引の内、投資信託及び投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、ＥＹ新日本有限責任監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2024年６月11日～2025年６月９日）に該当した取引は、トータル・リターン・スワップ取引が２件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、トータル・リターン・スワップ取引については、取引の相手方の名称、銘柄名、想定元本、その他トータル・リターン・スワップ取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年６月９日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**1,984,607,842円**
コール・ローン等	176,478,318
公社債(評価額)	328,966,000
Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド(評価額)	1,479,163,524
(B) 負債	**8,983,367**
未払解約金	263,659
未払信託報酬	8,683,427
その他未払費用	36,281
(C) 純資産総額(A－B)	**1,975,624,475**
元本	2,290,857,743
次期繰越損益金	△315,233,268
(D) 受益権総口数	**2,290,857,743口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**8,624円**

(注) 期首における元本額は1,666,059,641円、当期中における追加設定元本額は983,449,210円、同解約元本額は358,651,108円です。

■損益の状況

当期　自2024年６月11日　至2025年６月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**1,342,225円**
受取利息	1,342,225
(B) 有価証券売買損益	**△22,675,105**
売買益	32,586,770
売買損	△55,261,875
(C) 信託報酬等	**△16,403,356**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△37,736,236**
(E) 前期繰越損益金	**△24,640,119**
(F) 追加信託差損益金	**△252,856,913**
(配当等相当額)	(4,431,721)
(売買損益相当額)	(△257,288,634)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△315,233,268**
次期繰越損益金(G)	**△315,233,268**
追加信託差損益金	△252,856,913
(配当等相当額)	(4,885,417)
(売買損益相当額)	(△257,742,330)
分配準備積立金	5,212,435
繰越損益金	△67,588,790

(注１) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注３) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注４) 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,885,417
(d) 分配準備積立金	5,212,435
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	10,097,852
(f) １万口当たり当期分配対象額	44.08
(g) 分配金	0
(h) １万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては基準価額水準・市況動向等を勘案し、無分配とさせていただきました。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド」および「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

（2025年４月１日）

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンド

運用報告書

第９期（決算日　2025年６月９日）

（計算期間　2024年６月11日～2025年６月９日）

Ｏｎｅグローバル・リスクファクター・パリティ戦略マザーファンドの第９期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2016年11月30日から無期限です。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	世界（日本を含む）の株価指数先物、債券先物、商品先物、スワップ取引、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券（ＥＴＦ）および為替予約取引を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の５％以下とします。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)比率	債券先物比率	投資信託受益証券、投資証券組入比率	純資産総額
	円	%	%	%	%	%	%	%	百万円
5期(2021年6月8日)	13,249	△0.8	－	41.9	9.5	－	176.0	－	8,402
6期(2022年6月8日)	12,648	△4.5	－	57.2	29.5	－	171.3	－	6,778
7期(2023年6月8日)	11,185	△11.6	－	54.8	15.8	－	100.0	－	6,340
8期(2024年6月10日)	11,478	2.6	－	66.0	37.6	－	55.4	－	6,381
9期(2025年6月9日)	11,381	△0.8	－	61.2	42.8	－	87.4	－	6,746

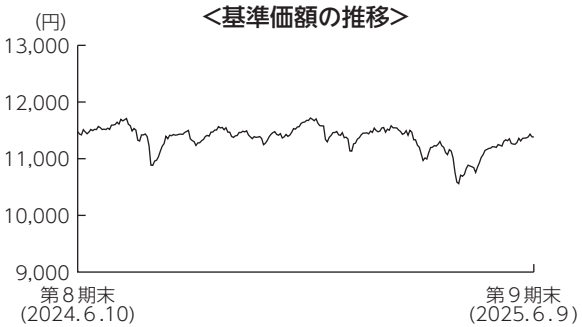
（注１）株式先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注２）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注３）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。
（注４）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年　月　日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)比率	債券先物比率	投資信託受益証券、投資証券組入比率
		騰落率						
(期　首)	円	%	%	%	%	%	%	%
2024年６月10日	11,478	－	－	66.0	37.6	－	55.4	－
６月末	11,521	0.4	－	66.9	37.5	－	56.7	－
７月末	11,436	△0.4	－	65.5	37.3	－	55.7	－
８月末	11,463	△0.1	－	65.2	36.7	－	52.8	－
９月末	11,542	0.6	－	56.1	36.3	－	86.6	－
10月末	11,357	△1.1	－	56.3	36.0	－	100.9	－
11月末	11,565	0.8	－	66.6	20.8	－	97.3	－
12月末	11,422	△0.5	－	74.4	28.8	－	87.0	－
2025年１月末	11,540	0.5	－	62.2	34.1	－	84.7	－
２月末	11,413	△0.6	－	66.6	54.0	－	66.2	－
３月末	11,108	△3.2	－	78.9	54.9	－	81.5	－
４月末	11,146	△2.9	－	61.0	44.1	－	94.0	－
５月末	11,358	△1.0	－	60.0	42.8	－	89.0	－
(期　末)								
2025年６月９日	11,381	△0.8	－	61.2	42.8	－	87.4	－

(注１) 騰落率は期首比です。
(注２) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。
(注３) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2024年６月11日から2025年６月９日まで）



基準価額の推移

当ファンドの基準価額は11,381円となり、前期末比で0.85％下落しました。

基準価額の主な変動要因

株式市場は、円高進行や米関税発動への懸念などから短期的に下落する場面があったものの、堅調な経済指標等を受け、国内および国外の主要指数は上昇しました。債券市場は、海外主要国における利下げ観測や日銀の利上げなどを背景に、国外・国内ともにまちまちの展開となりました。為替市場は、日銀の利上げなどを背景に、主要通貨に対して前期末対比で円高となりました。そのような状況下、月次戦略は債券がマイナス寄与となり、基準価額は下落しました。

投資環境

海外主要国における利下げ観測や日銀の利上げなどを背景に、債券市場はまちまちの展開となりました。株式市場は、円高進行や米関税発動への懸念などから短期的に下落する場面があったものの、堅調な経済指標等を受け、国内および国外の主要指数は上昇しました。商品市場は、中東情勢を巡る地政学リスクの高まりや米国景気の先行き不透明感などを背景に、金市場などが上昇しました。

ドル／円相場は、ＦＲＢの利下げ観測の高まりや日銀の利上げなどを受け、前期末対比で円高ドル安となりました。ユーロ／円相場は、ユーロ圏景況感の悪化などを受けたＥＣＢの利下げ観測の強まりや日銀の利上げなどを背景に、前期末対比で円高ユーロ安となりました。

ポートフォリオについて

主として世界（日本を含む）の株式、債券、通貨、商品等に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率８％程度となるよう、ポートフォリオを構築しました。各市場及び各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、資産価格に影響を与える複数のリスク要因を抽出したうえで、各要因からファンドが受ける影響が均等になるように、月次で決定しました。その結果、前期末対比でファンド全体のポジションは概ね同程度となりました。

【運用状況】

○資産別構成

期首（前期末）

資産		組入比率	
株式	米州先進国	12.6%	66.0%
	欧州先進国	35.0%	
	アジア先進国	16.7%	
	新興国	1.7%	
債券	米州先進国	6.0%	55.4%
	欧州先進国	31.1%	
	アジア先進国	18.3%	
	新興国	－	
為替	米州先進国	5.1%	16.2%
	欧州先進国	7.3%	
	アジア先進国	3.8%	
	新興国	0.0%	
商品		0.0%	0.0%
合計		137.7%	

期末

資産		組入比率	
株式	米州先進国	22.6%	61.2%
	欧州先進国	21.1%	
	アジア先進国	15.5%	
	新興国	2.0%	
債券	米州先進国	32.2%	87.4%
	欧州先進国	16.0%	
	アジア先進国	39.2%	
	新興国	－	
為替	米州先進国	5.1%	△11.5%
	欧州先進国	△1.5%	
	アジア先進国	△15.1%	
	新興国	0.0%	
商品		1.0%	1.0%
合計		138.2%	

（注１）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合（邦貨換算）です。
（注２）先物取引やスワップ取引等の買建ておよび売建てを組み合わせた実質的な資産配分比率です。

今後の運用方針

引き続き、主として世界（日本を含む）の株式、債券、通貨、商品等に実質的に投資を行い、基準価額の変動リスクが年率８％程度となるよう、ポートフォリオを構築します。各市場及び各通貨への投資比率は、統計的手法を用い、資産価格に影響を与える複数のリスク要因を抽出したうえで、各要因からファンドが受ける影響が均等になるように、月次で決定してまいります。

■１万口当たりの費用明細

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	9円 (9)	0.077% (0.077)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (4) (5)	0.081 (0.038) (0.043)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	18	0.158	
期中の平均基準価額は11,359円です。			

（注１）金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注２）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2024年６月11日から2025年６月９日まで）

(1) 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	5,574,149	4,091,448 (1,000,000)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) スワップ及び先渡取引状況

種類	当期 取引契約金額
	百万円
トータルリターンスワップ	2,394

（注）金額は受渡代金です。

■派生商品取引状況等

先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買建		売建		当期末評価額		
			新規買付額	決済額	新規売付額	決済額	買建額	売建額	評価損益
			百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
国内	株式	TOPIX	3,561	4,271	−	−	390	−	33
国内	債券	長期国債	8,206	7,091	−	−	2,087	−	△10
外国	株式	S&P500 EMINI FUTURES	7,661	7,176	−	−	1,392	−	107
外国	株式	MINI MSCI EMG MKT	641	603	844	885	137	−	9
外国	株式	S&P/TSE 60 IX FUTURES	4,964	4,767	382	499	133	−	9
外国	株式	SPI 200 FUTURES	2,756	2,272	56	78	482	−	12
外国	株式	HANG SENG IDX FUT	1,348	1,183	1,047	1,101	175	−	4
外国	株式	FTSE 100 INDEX FUTURE	3,876	2,881	418	468	1,040	−	51
外国	株式	SWISS MKT IX FUTURE	778	1,075	−	−	−	−	−
外国	株式	OMXS30 IND FUTURE	1,524	1,985	2,895	2,559	−	345	△4
外国	株式	DJ EURO STOXX 50	7,316	8,030	−	−	725	−	44
外国	債券	US 10YR NOTE FUTURES	11,444	9,755	−	684	1,672	−	△3
外国	債券	CAN 10YR BOND FUTURES	8,055	8,558	−	−	499	−	△1
外国	債券	AUST 10Y BOND FUTURES	3,353	2,922	1,370	1,344	558	−	1
外国	債券	LONG GILT FUTURES	−	227	4,588	4,234	−	342	△0
外国	債券	EURO BTP FUTURE	3,746	3,775	1,315	1,337	−	338	0
外国	債券	EURO OAT FUTURE	−	−	2,000	1,911	−	327	1
外国	債券	EURO-BUND FUTURES	9,610	9,819	−	−	2,087	−	△11

（注）金額は受渡代金です。

■利害関係人との取引状況等（2024年６月11日から2025年６月９日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,900,000	2,887,394	42.8	－	－	－	42.8
合計	2,900,000	2,887,394	42.8	－	－	－	42.8

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（国債証券）	%	千円	千円	
１２８８回　国庫短期証券	－	500,000	498,290	2026/02/20
１３００回　国庫短期証券	－	2,400,000	2,389,104	2026/04/20
合計	－	2,900,000	2,887,394	－

(2) 先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別		当期末 買建額	当期末 売建額
		百万円	百万円
国内	TOPIX	390	−
国内	長期国債	2,087	−
		百万円	百万円
外国	S&P500 EMINI FUTURES	1,392	−
外国	MINI MSCI EMG MKT	137	−
外国	S&P/TSE 60 IX FUTURES	133	−
外国	SPI 200 FUTURES	482	−
外国	HANG SENG IDX FUT	175	−
外国	FTSE 100 INDEX FUTURE	1,040	−
外国	OMXS30 IND FUTURE	−	345
外国	DJ EURO STOXX 50	725	−
外国	US 10YR NOTE FUTURES	1,672	−
外国	CAN 10YR BOND FUTURES	499	−
外国	AUST 10Y BOND FUTURES	558	−
外国	LONG GILT FUTURES	−	342
外国	EURO BTP FUTURE	−	338
外国	EURO OAT FUTURE	−	327
外国	EURO-BUND FUTURES	2,087	−

（注）外貨建の評価額は、期末の時価を期末の仲値により、邦貨換算したものです。

(3) スワップ及び先渡取引残高

種類	取引契約残高 当期末想定元本額
	百万円
トータルリターンスワップ	598

■投資信託財産の構成

2025年６月９日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
公社債	2,887,394	42.1
コール・ローン等、その他	3,971,079	57.9
投資信託財産総額	6,858,473	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。
（注２）期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、1,578,556千円、23.0％です。
（注３）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年６月９日における邦貨換算レートは、１アメリカ・ドル＝144.90円、１カナダ・ドル＝105.82円、１オーストラリア・ドル＝94.21円、１香港・ドル＝18.46円、１イギリス・ポンド＝196.17円、１スイス・フラン＝176.21円、１スウェーデン・クローナ＝15.04円、１ユーロ＝165.11円です。

■特定資産の価格等の調査

当ファンドにおいて行った取引の内、投資信託及び投資法人に関する法律により価格等の調査が必要とされた資産の取引については、ＥＹ新日本有限責任監査法人へその調査を委託しました。対象期間中（2024年６月11日～2025年６月９日）に該当した取引は、トータル・リターン・スワップ取引が２件あり、該当取引については当該監査法人からの調査報告書を受領しました。

なお、トータル・リターン・スワップ取引については、取引の相手方の名称、銘柄名、想定元本、その他トータル・リターン・スワップ取引の内容に関することについて調査を委託しました。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年６月９日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**11,381,531,174円**
コール・ローン等	2,276,665,690
公社債(評価額)	2,887,394,000
未収入金	4,835,872,099
差入委託証拠金	1,381,599,385
(B) 負債	**4,634,741,609**
未払金	4,621,841,609
未払解約金	12,900,000
(C) 純資産総額(A－B)	**6,746,789,565**
元本	5,928,310,044
次期繰越損益金	818,479,521
(D) 受益権総口数	**5,928,310,044口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**11,381円**

(注１) 期首元本額 5,559,862,172円
追加設定元本額 4,193,349,888円
一部解約元本額 3,824,902,016円

(注２) 期末における元本の内訳
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク８％） 1,572,894,147円
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク６％） 289,203,624円
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク４％） 178,372,999円
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク２％） 4,469,953円
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク８％）<DC年金> 2,126,483,201円
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク６％）<DC年金> 1,299,677,994円
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク４％）<DC年金> 339,799,189円
One国際分散投資戦略ファンド（目標リスク２％）<DC年金> 117,408,937円
期末元本合計 5,928,310,044円

■損益の状況

当期　自2024年６月11日　至2025年６月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**62,411,487円**
受取利息	13,160,744
その他収益金	49,250,743
(B) 有価証券売買損益	**△164,435,984**
売買益	449,660,920
売買損	△614,096,904
(C) 先物取引等取引損益	**△47,146,637**
取引益	1,262,404,872
取引損	△1,309,551,509
(D) その他費用	**14,310,763**
(E) 当期損益金(A＋B＋C＋D)	**△134,860,371**
(F) 前期繰越損益金	**821,707,764**
(G) 解約差損益金	**△291,137,984**
(H) 追加信託差損益金	**422,770,112**
(I) 合計(E＋F＋G＋H)	**818,479,521**
次期繰越損益金(I)	**818,479,521**

(注１) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注３) (H)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

約款変更のお知らせ

■投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年４月１日)